

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた情報発信(案)



別紙2

1. 事業概要

貴重な遺産である鳴門の渦潮を守り後世に伝えていくため、平成26年度から世界遺産に向けた取り組みを行っており、これまでの学術調査の結果や渦潮の「顕著な普遍的価値」、渦潮を通じた地球温暖化など人類共通の環境問題等について、SDGsの観点から国内外へ情報発信を行い、今後の世界遺産登録に向けた機運の醸成を図る。

2. 実施内容 (案)

(1)開催形式：国際シンポジウム（ひょうごフィールドパビリオンとして登録申請の予定）

- (2)内 容：
- ・ユネスコ関係者等による講演
 - ・自然・文化学術調査の成果の発表（鳴門の渦潮の特性、海外類似資産との比較研究結果、渦潮と人の関わり等）
 - ・保護保全と観光との両立に取り組む世界遺産登録地の関係者による事例発表
 - ・世界遺産登録に向けた方向性の提示
 - ・エコツアー（鳴門の渦潮の観潮、鳴門の渦潮と関わりが深い施設や地域の環境保全活動等の取組）



(3)対 象 者：ユネスコ、海外類似資産（ノルウェー・スコットランド）関係者、環境省、文化庁等

3. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①学術調査	調査の継続（海外連携調査、新たなアプローチ研究、地質・景観調査、分間絵図調査）	成果とりまとめ	
②方向性の検討		世界遺産登録の方向性の検討	方向性の提示
③国際シンポジウム	実施計画の検討	国内外招聘者調整・開催に向けた調整	開催